

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立村櫛小学校運営協議会長

<本年度の目標>

CS初年度として、各委員に学校の経営方針を理解してもらい、支援のニーズを知ることや、そのためのコーディネーターの人選をするとともに、学校運営協議会のあり方を模索しながら、次年度以降の学校支援につながる一年とする。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長からの学校運営の基本方針、及び、現在行われている教育活動の様子や地域との関わりについての説明により、共通理解が図られた。

委員からは、村櫛地域に根差した思いがこもったものであり、このまま進めてほしいという願いとともに、その具現のために組織作りを進めることや、学校と地域がよりつながっていくための取り組みが必要であることが熟議できた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

「優しい学校」という目指す子供の姿が明確になったことで、村櫛ファミリーとしての仲のよさを大切にしながら、多様な人、考え方を認められる「優しさ」を身に付けられるように、外部とつながる手伝いができればよいなどと熟議を進めることができた。

さらに、学校支援活動を進めていくために、コーディネーターが重要な役割を果たすこと、そのコーディネーターに求められる役割、その人選について、熟議がなされ、コーディネーターの人選が実現した。

会議の場は、時間に限りあって話し合いきれない部分もあったが、校長からの丁寧な説明や、学校と地域が日頃から連絡を取り合うことで、熟議に相当する成果が得られている。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校ホームページでの会議録公開を速やかに行うことができた。また、ブログを通して、タイムリーに地域や保護者へ積極的に情報発信を行うことができた。

今後は、より広く周知する方策を考え、実施していきたい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

子供たちが、村櫛地域の人の温かさに触れたり、多様な生き方にふれたりしながら「優しさ」を身に付け、学校経営方針の具現ができるよう、地域に出て学ぶことを応援していくことをしていきたい。

子供たちが本に親しむ取り組み、読書を通して、心を育てたり、多様な生き方・考え方に触れる取り組みができるとよい。

学校運営の基本方針に沿って授業や行事を参観し、そこから気づいた良い点や課題などについて熟議していきたい。